

KIRÄ TERÄ

BRAND SITE



INSTAGRAM



株式会社 b-e x
東京都世田谷区用賀 4-10-5
お問合せ窓口 03(6757)7767





ALL CORE. MAKE MORE.

BASIC LINE

10 色相

キラテラカラー 1 剤 100g 医薬部外品・染毛剤

色相・明度・彩度の広い表現幅でアンダーを狙った色に描き変えるアルカリカラーライン。

ブラウン系～モノトーン系の5色相、彩度系5色相の計10色相で構成された KIRATERA のメインゾーン。



ON COLOUR LINE

13 色相

キラテラカラー 1 剤 100g 医薬部外品・染毛剤

ハイトーン、オンカラー用の低アルカリカラー 1 剤。

ビビッド～パール～ダークまでブリーチ毛を幅広く描き変える色相ライン。

BASIC LINE と重複する色味 (DG・JP・FP・DO・CB・CG) は、ブリーチアンダーにムラがある場合は BASIC LINE、ムラが少なく整ったアンダーの場合は ON COLOUR LINE を使用し、使い分けが可能。



キラテラカラー クリア 400g 医薬部外品

染料配合無しでピュアに薄めることが可能なアルカリクリア。
400g の大容量パウチタイプで操作性も良好。



KIRATERA OXY

キラテラ オキシ 2 剤 2000mL 医薬部外品

キラテラ オキシ 2 [既染部用]
ブリーチアンダーやダメージ箇所へのオンカラーやトーンダウン用。

キラテラ オキシ 6 [新生部用]
髪を明るくしながらカラーリングする際のトーンアップ用。



ACCENT LINE

8 色相

塩基性カラー 400g 化粧品・染毛料

アルカリカラーだけでは表現できない高彩度発色が可能。
BASIC LINE との相性も良く、ヘアカラー提案の幅が広がる塩基性カラー。



キラテラ クリア 1000g 化粧品・ヘアトリートメント

ハイトーン領域で髪をケアしながら塩基性カラーのパール表現を可能にするヘアトリートメントタイプの塩基性用クリア。



CUP & BRUSH

キラテラ カラーカップ
キラテラ カラーブラシ

操作性とデザイン性に拘った大容量カラーカップ&カラーブラシ。



BASIC LINE & ON COLOUR LINE

医薬部外品・染毛剤

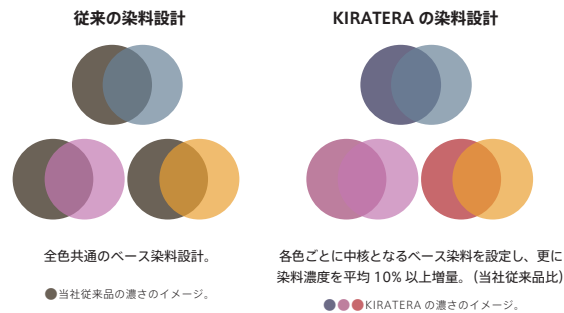
アンダーを描き変える※強烈発色 & 高濃度設計

※描き変える=残留ティントに左右されにくい

強烈発色 & 高濃度設計を実現する Core Shade 処方

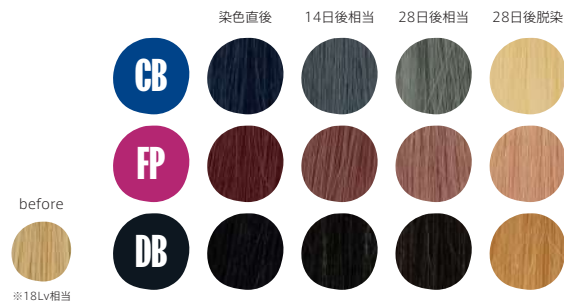
様々なアンダーを描き変える Core Shade 処方採用。

敢えて全色共通のベース染料を設けず、各色ごとに中核となるベース染料を設定。各アンダーに対して最大限の発色パフォーマンスが発揮できるように各色の彩度系の染料濃度を増量し、アンダーを描き変える強烈発色 & 高濃度設計を実現しました。



残留コントロールへのこだわり

KIRATERAはカラーチェンジのしやすさを追求し、カラー褪色後の残留の剥がしやすさにこだわりました。脱染剤の使用で残留ティントを無理なく剥がせて、次のカラー表現をさらにスムーズにします。



ブリーチ力を抑えながら高発色

ハイトーンアンダーに対して、ブリーチ力を抑えながら発色させたい時にご使用ください。ビビッドな発色からペールトーン～ダークトーンまで幅広い発色の LINE UP によって、多彩なヘアカラー表現が可能になります。

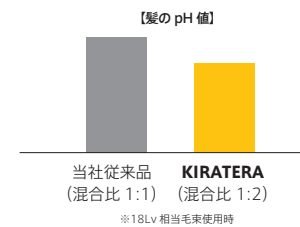


残留アルカリを抑えるローアルカリ処方

全レベル共通OXY2倍設計

1剤と2剤の混合比率に着目し、すべてのレベルの1剤と2剤の混合比率を「1:2」で統一して使用できる処方設計を採用しました。1剤と2剤を組み合わせることで、使用時のアルカリ量と髪の残留アルカリ (pH) の低減を実現しました。

KIRATERA ローアルカリ OXY 設計による残留アルカリの違い



ACCENT LINE

化粧品・染毛料

単品使用やアルカリカラーとの併用で広がる高彩度発色

ネオングロスコート処方で 蛍光感のある高彩度発色

KIRATERA ACCENT LINEは、BASIC LINE及びON COLOUR LINEと同様に染料濃度を調整し、蛍光感のある発色を実現しました。更にネオングロスコート成分^{※1}を配合し、pHを中性付近に設定したことで最適な発色を目指しました。



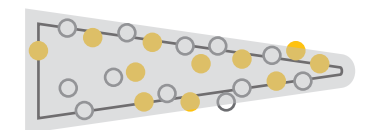
※1 加水分解コンキニオン【真珠由来・毛髪補修】、加水分解クラチン(羊毛)【毛髪補修】、加水分解シルク/P Gプロピルメチルシランジオール)クロスポリマー【ツヤ付与】

※2 当社従来品染毛料比較

W カチオンベース処方

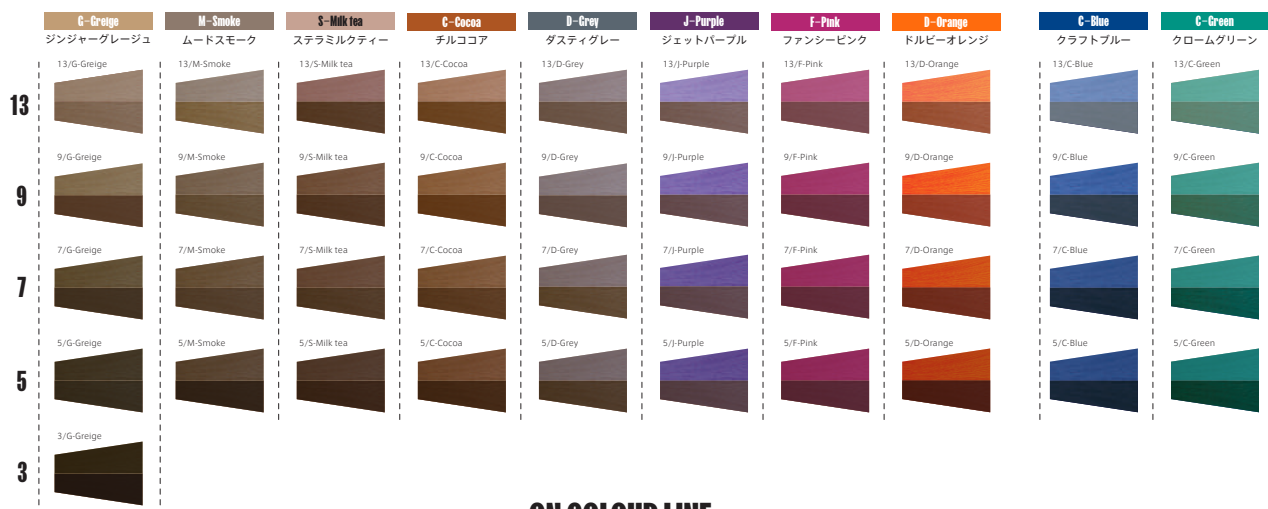
2種の異なるカチオン界面活性剤^{※3}を使用したトリートメントタイプのベース処方採用。ブリーチ毛への施術時の引っ掛かりを少なくし、滑らかな質感に仕上げることを追求しました。

- ※3 クオタニウム-33【帯電防止】
- ※3 ステアルトリモニウムクロリド【帯電防止】



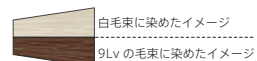
※ 図はイメージです。

BASIC LINE (アルカリカラー / 医薬部外品)

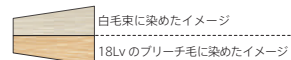


カラー剤使用量の目安		
1 剤使用量	2 剤使用量	合計
60g	120mL	180g
50g	100mL	150g
40g	80mL	120g
30g	60mL	90g
20g	40mL	60g
10g	20mL	30g

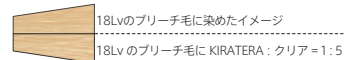
BASIC LINE (アルカリカラー)



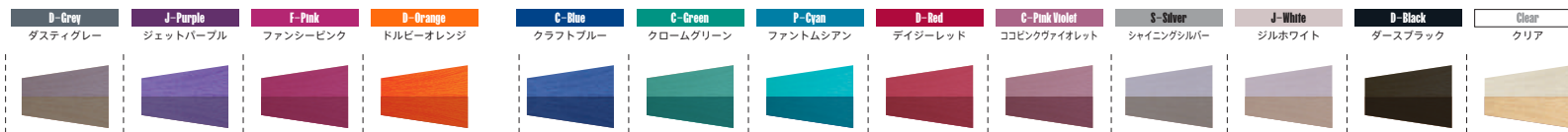
ON COLOUR LINE (低アルカリカラー)



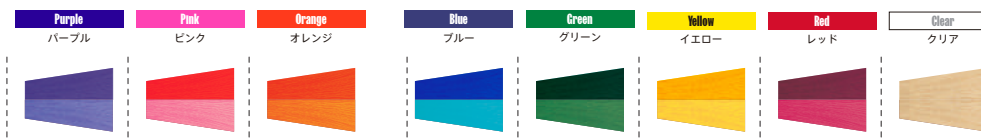
ACCENT LINE (塩基性カラー)



ON COLOUR LINE (低アルカリカラー / 医薬部外品)



ACCENT LINE (塩基性カラー / 化粧品)



BASIC PROCESS

BASIC & ON COLOUR (アルカリカラー) 基本プロセス

薬剤選定

希望色にするための
薬剤選定をします。

薬剤割合

1 剤 : 2 剤はすべての
レベルの薬剤において
1:2 の割合で割合を調整します。

塗布・放置

20 分 ~ 30 分を目安に
自然放置します。

流し・ドライ

色が出なくなるまでブレンリンス後、
シャンプーで洗い流します。

ACCENT LINE (塩基性カラー) 基本プロセス

薬剤選定

希望色にするための
色選定をします。

塗布

ウェットで塗布推奨。
(軽く水分を切る、
タオルドライしてから塗布。)

放置

10 分 ~ 20 分程度を目安に
自然放置します。

流し・ドライ

色が出なくなるまでブレンリンス後、
シャンプーで洗い流します。

※実際の染め上がりの色は、地毛によって異なります。

【ご注意】

ご使用の際は、使用上の注意をよく読んで正しくお使いください。
ご使用前には、毎回必ず皮膚アレルギー試験 (パッチテスト) を行ってください。
今までにヘアカラーでかぶれたことのある方には、絶対に使用しないでください。

BASIC LINE

色相名称・特長・染料構成

<i>Ginger Greige</i> ジンジャーグレージュ	灰みのあるニュートラルグレージュ	
<i>Mood Smoke</i> ムードスモーク	灰みがかったスモーキーなブラウングレー	
<i>Stella Milk tea</i> ステラミルクティー	まろやかなミルクティーベージュ	
<i>Chill Cocoa</i> チルココア	温かみのある落ち着いたココアブラウン	
<i>Dusty Grey</i> ダスティグレー	マットみを抑えた透明感グレー	
<i>Jet Purple</i> ジェットパープル	艶感を与える赤み寄りのパープル	
<i>Fancy Pink</i> ファンシーピンク	かすかな紫みを感じるファンシーなピンク	
<i>Dolby Orange</i> ドルビーオレンジ	強烈彩度のビビッドオレンジ	
<i>Craft Blue</i> クラフトブルー	アンダーを描き変える濃厚ブルー	
<i>Chrome Green</i> クロームグリーン	強烈彩度のビビッドグリーン	

■黒褐色系 ■灰緑褐色系 ■黄褐色系 ■青色系 ■灰青紫色系 ■緑色系 ■赤色系 ■淡赤色系 ■赤紫色系 ■黄褐色系 ■黄色系 ※染料構成比は平均染料構成です。

1剤の明度別のブリーチ力と仕上げり明度について

使用薬剤明度	ブリーチ力	仕上げり明度
13	14.5Lv 程度	13Lv
9	10.5Lv 程度	9Lv
7	8.5Lv 程度	7Lv
5	6Lv 程度	5Lv
3	4Lv 程度	3Lv

ヘアカラー剤（1剤）は明度が上がるほど薬剤に含まれるアルカリ剤は多くなります。そのため、明度が低いほどブリーチ力は小さく、明度が高くなるほどブリーチ力は大きくなります。

ON COLOUR LINE

色相名称・特長・染料構成・染料濃度

<i>Dusty Grey</i> ダスティグレー	オンカラー専用のマットみを抑えた透明感グレー		9Lv相当
<i>Jet Purple</i> ジェットパープル	オンカラー専用の赤み寄りのパープル		9Lv相当
<i>Fancy Pink</i> ファンシーピンク	オンカラー専用のかすかな紫みを感じるピンク		9Lv相当
<i>Dolby Orange</i> ドルビーオレンジ	オンカラー専用のビビッドオレンジ		9Lv相当
<i>Craft Blue</i> クラフトブルー	オンカラー専用の濃厚ブルー		9Lv相当
<i>Chrome Green</i> クロームグリーン	オンカラー専用のビビッドグリーン		9Lv相当
<i>Phantom Cyan</i> ファントムシアン	オンカラー専用の幻想的なシアン		9Lv相当
<i>Daisy Red</i> デイジーレッド	オンカラー専用のピュアレッド		9Lv相当
<i>Coco Pink Violet</i> ココピンクヴァイオレット	くすみのあるピンクヴァイオレット		9Lv相当
<i>Shining Silver</i> シャイニングシルバー	ブリーチ毛を描き変える艶をまとうシルバー		13Lv相当
<i>Sil White</i> シルホワイト	ブリーチ毛を描き変える透き通る白		13Lv相当
<i>Dark Black</i> ダースブラック	褪色も黒を維持したまま抜ける深淵の黒		3Lv相当
<i>Clear</i> クリア	染料無配合の大容量クリア		—

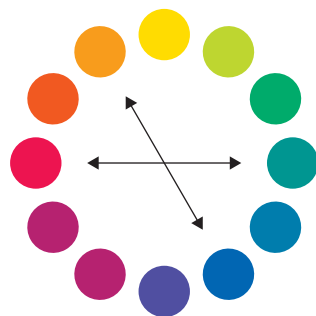
※ON COLOUR LINEのブリーチ力はすべて6Lv設計です。

※DG、JP、FP、DO、CB、CGはBASIC LINEの9Lvと同等の彩度感です。

UNDER CONTROL

補色とは

色相環上で正反対に位置する色のことを「補色」といいます。
この正反対の位置関係にある色同士を「補色の関係」といいます。
赤の補色は青緑、青の補色は黄みの橙になります。



低明度～中明度アンダー

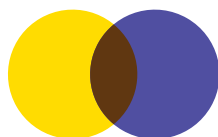
赤～オレンジのアンダーを打ち消すとき



クロームグリーン (CG)、クラフトブルー (CB) で打ち消す。

高明度アンダー

イエローアンダーを打ち消すとき



ジェットパープル (JP) で打ち消す。

アンダーに合わせた補色選定



アンダーにオレンジを感じる場合

Craft Blue *Chrome Green*

赤みやオレンジみを消したいとき

アンダーにイエローを感じる場合

Jet Purple *Fancy Pink* *Coco Pink Violet*

黄みを抑えて無彩色～暖色にしたいとき

Dolby Orange

寒色系の残留がある状態で
無彩色～暖色にしたいとき

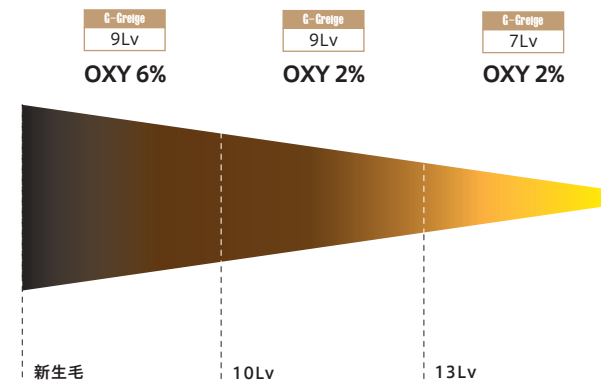
TONE DOWN

単位：Lv

現在の明度 希望の明度	13	12	11	10	9	8	7
13							
12	(10)						
11	9	9					
10	(8)	(8)	(10)				
9	7	7	9	9			
8	(6)	(6)	(8)	(8)	(8)		
7	5	5	7	7	7	7	
6	(4)	(4)	(6)	(6)	(6)	(6)	(6)
5	3	3	5	5	5	5	5

※ 髪質、求める色み、ダメージ度合いにより仕上がりに誤差が生じる場合がございます。

CASE 9Lvのベースに揃える場合



基本のトーンダウンの考え方で薬剤選定をし、ベースの明るさを調整します。

ACCENT LINE

色相名称・特長・染料構成

<i>Purple</i> パープル	蛍光感のあるピュアパープル	
<i>Pink</i> ピンク	蛍光感のあるピュアピンク	
<i>Orange</i> オレンジ	蛍光感のあるピュアオレンジ	
<i>Blue</i> ブルー	蛍光感のあるピュアブルー	
<i>Green</i> グリーン	蛍光感のあるピュアグリーン	
<i>Yellow</i> イエロー	蛍光感のあるピュアイエロー	
<i>Red</i> レッド	蛍光感のあるピュアレッド	
<i>Clear</i> クリア	髪をいたわるトリートメントタイプのクリア	

CLEAR MIX

	Purple パープル	Pink ピンク	Orange オレンジ	Blue ブルー	Green グリーン	Yellow イエロー	Red レッド
単品							
1:3							
1:5							
1:10							

※18Lvのブリーチ毛を染めたイメージです。



アンダーレベルやダメージレベル、目指す仕上がりに合わせてクリア比率を調整します。

ACCENT LINE単品の場合

BEFORE

アンダーにダメージムラがある状態



AFTER

均一な仕上がりにしやすい

ブリーチアンダーのダメージムラが多い場合は、ダメージ部分ほど濃く色が入るので毛先はクリアで薄めて塗分ける。

BASIC LINE(アルカリカラー)と併用する場合

BEFORE

アンダーに色ムラがある状態



ブリーチアンダーに色ムラがある場合は、アルカリカラーやブリーチ (or 脱染剤) でベースを整えた後に ACCENT LINE で仕上げる。